



そなえる
備

富岡 勝則

皆さんこんにちは。

今年は昨年より19日も早く梅雨が明け、日差しが日増しに強くなってきました。この時期は、暑さのために食欲が無くなったり、寝苦しい夜が続いて寝不足気味になったりするなど体調を崩しやすくなります。私も暑いと、ついエアコンに頼りがちになりますが、クールビズを上手に利用して、自然にも優しく、この夏の暑さを乗り切っていきたいと思っています。

さて、9月1日は防災の日です。東日本大震災から2年余りが過ぎ、時の流れとともにその記憶も薄れつつあるのではないのでしょうか。そこで市では、あらためて防災の意識を高めていただけるよう9月1日の午前9時から朝霞の森で総合防災訓練を行います。この防災訓練は、東京湾北部を震源域とするマグニチュード7.3の直下地震が発生したことを想定して行うもので、陸上自衛隊や消防署、警察署、

消防団などの防災関係機関や朝霞市社会福祉協議会、自治会・町内会などの皆さんと一緒にいきます。当日は、消防団員の指導による初期消火訓練や消防署員の指導によるAEDを使った心肺蘇生法の訓練のほか、地震体験車による震度6クラスの地震体験、陸上自衛隊による炊き出しなどさまざまな体験型訓練を行う予定です。

災害が起こった時にその被害を最小限に抑えるためには、自分の命は自分で守る「自助」、地域で近くにいる人が助け合う「共助」、市をはじめ警察、消防などの行政機関が災害支援活動にあたる「公助」、それぞれが補い合い連携していくことがとても重要だといわれています。実際に大規模な災害が起こったときには、市などの行政機関は、その対応に全力であたりますが、どうしても限界があります。「自助」はもちろんです、地域の方々で力を合わせて被災した方々を救出したり、消火活動を行ったりするなどの「共助」がとても大切です。

今回の訓練には、どなたでも参加できますので、ぜひ積極的に参加していただき、自分ができることや自治会・町内会、ご近所の方と協力してできることなどを確認、体験して、災害が起こったときに落ち着いて行動し、被害をできるだけ小さくできるように備えていただきたいと思います。

では、また。

朝霞市は 男女平等を進めています

～ 一歩踏み出す勇気③ ～

このコーナーでは男女平等を進めるために毎年度テーマを決めて連載しています。今年度のテーマは「一歩踏み出す勇気」。女性も男性も、新しいことを始めるときには、誰でも最初の一歩を踏み出す勇気が必要です。そんな一歩を踏み出した人たちのお話を男女平等推進事業企画・運営協力員が紹介していきます。今回は、地域活動を始めた若者のお話です。

あまり聞き慣れない方もいらっしゃるかもしれませんが、今回お話を伺った皆さんが「*青少年相談員」として地域活動を始めたのは、学生や社会人になって間もない20歳代頃だそうです。若いときはなかなか、地域活動に参加するきっかけがないものですが、皆さんのきっかけは、

「学生だったとき『大きくなあれ』という青少年相談員の広報紙で相談員募集を見たことがあった。その時は何の団体か分からなかったが、社会人になって職場の先輩に声をかけてもらい、ためしに行ってみた。」
「子どもと関わるボランティアや地域で活動したいと思っていた時に、募集チラシを見て行ってみた。」

「先輩相談員から誘われて行ってみた。」
などそれぞれでした。

話を伺った皆さんが、その後も相談員として本格的に活動しようと思ったのは、イベントに参加している子ども達の笑顔や、先輩相談員といいコミュニケーションが取れたからだそうです。

活動している今、人との関わりを持つ中で自分自身の成長を実感すると共に、自然に男女が協働していくことの大切さを知り、地域で異世代との繋がりや仲間ができて、自分の住む『朝霞』が好きになったとのこと。こうしたことが、結果的に男女共同参画につながっているのです。

現代社会は、異世代の交流が難しいところですが、交流が自然にできて、自分自身が成長できる仲間がいるって素敵ですね！

*青少年相談員とは：地域の子どもの「お兄さん、お姉さん」となって、子どもたちの健やかな成長を助けるために活動しているボランティアです。

(次回のテーマは「定年退職後の地域デビュー」です。)

ひとの推移

人口	13万2,071人 (－26人)	世帯数	5万9,463世帯
男	6万7,108人 (－22人)		(－2世帯)
女	6万4,963人 (－4人)	平成25年7月1日現在	()内は前月比

*このコラムは、「朝霞市男女平等推進事業企画・運営協力員」との協働により掲載しています。

☎/それいゆぷらざ(女性センター)
☎463-2697